

日本ペルー民族学研究50周年記念事業：日本とペルーの媒介者たち プログラム

第1部 展示

「日本とペルーの媒介者たち——R.ハースティンの絵画と友枝コレクションを中心に」

日時： 10月2日（金） 11：30～18：00

10月3日（土） 10：00～18：00

10月4日（日） 10：00～17：30

場所： 名古屋国際センター2F

（JR名古屋駅から地下鉄1区「国際センター」下車。そのまま会場へ）

第2部 フォーラム

「日本のアンデス民族学研究50周年フォーラム」

10月2日（金）

15:15-展示の解説

身体と文化

ラファエル・ハースティン

1535- 16:45 基調講演 1

日本におけるアンデス民族学50年

木村秀雄（東京大学大学院教授）

（南山大学名古屋キャンパス G-22 教室）

17:10 南山大学研修センターへ移動

18:30 ～ 夕食

アンデス研究へのアプローチ 第1部

19:45- アンデスの狩猟・牧畜研究とドメスティケーションへの示唆 稲村哲也（愛知県立大学教授）

20:00- 映画「Altiplano」ペルー山間部農民ののための暴力をテーマとする作品。

解説：Luis Millones

本邦初公開。

映画の後は、研修センターは貸切ですから、自由にご歓談ください。

10月3日（土）

9:20- 研修センター出発 南山大学名古屋キャンパスへ

10:00- 基調講演 2

外国から見た日本人のアンデス民族学研究

ルイス・ミリヨネス（サン・マルコス大学教授）

11:00- 友枝コレクションの可能性

河辺真次（南山大学ラテンアメリカ研究センター研究員）

11:20- ペルー・中央セルバの歴史研究の重要性

真鍋周三（兵庫県立大学教授）

- 11:40- 愛知県内在住日系ペルー人に見るペルー 寺澤宏美（名古屋外国語大学講師）
- 12:00- アンデス舞踏の今昔 佐々木直美（法政大学准教授）
- 12:20- ペルーのケチュア語と二言語・異文化間教 青木芳夫（奈良大学教授）
- 12:40- インカとサンタ・ロサーペルー文化を代表する二つのイメージ 八木百合子（総研大博士課程）
- 13:00- プーナの片隅から見た世界 鳥塚あゆち（東海大学）
- 13:20- 14:20 昼食（お弁当を用意します）
- 14:20- 住民参加によるインカ道の保全と活用 大谷 博則（奈良大学大学院）
- 14:40- ワリ研究最前線 渡部森哉（南山大学准教授）
- 15:00- アンデスとスペインの黄金世紀演劇 高橋博幸（立命館大学教授）
- 15:20- 現代に生きる「ミイラ」 上原なつき（南山大学人間文化学科博士課程後期）
- 15:40- グローバル化の中のペルー性・アンデス性 山脇千賀子（文教大学教授）
- 16:00- アンデス・エスノヒストリーの可能性（仮） 網野徹哉（東京大学大学院教授）
- 16:20- 現代に生きる「インカ誌」：エクアドル南部チュンブリン村の聖女の祭り
大平秀一（東海大学准教授）
- 16:40- ユンサ研究の現在：『雄牛とコンドル』から20年 若林大我（日本学術振興会特別研究員）
- 17:00- その後のコトシュ遺跡 藤井龍彦（国立民族学博物館名誉教授）
- 17:30 閉会

場所：南山大学名古屋キャンパス L棟9階

以上、何かご質問があれば、加藤隆浩まで。

主催：国際ペルー研究者会議、在名古屋ペルー総領事館

共催：名古屋市、中部日本新聞、南山大学ラテンアメリカセンター、人類学博物館